

ここが聞きたい

Q & A

黒潮町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

Q 未収金が6千万円近くある。徴収努力をしているか。

値上げは2千万円だが、来年も値上げが必要になるのではないか。

また、医療費が高くなるような施策はやっているか。



矢野健康福祉課長

A 未収金は19年度6824万円だったものが、平成23年度では6444万円となり5・6%減少した。未収金のある方には督促をしている。

医療費の抑制には、検診受診率の向上に向けた取り組みと併せて、本年度策定した地域福祉計画に健康対策を盛り込んだ。

平成23年度黒潮町一般会計補正予算

Q 携帯電話の不感知地域が残っているのに事業費が減額となったのはなぜか。

A 減額は入札減等。不感知地域への拡大については、県補助金の3分の2を頂いて、予算内で進めている。23年度については2地区、24年度は2地区を計画している。

Q 測量設計委託1237万円減額分はどの地区か。

A 大方地域の町道浮津橋、町道浮津線の浮津橋の委託。橋りょう点検の委託料。システム運用管理が若干減額になったもの。

平成24年度黒潮町一般会計予算



大西町長

託 行政との協働モデル事業委託

Q どんな事業か。

A 地域の宝を発信し、販売できるシステムをつくるもの。資源があっても販売が弱いので強化する。

工事請負費

Q 携帯電話不感知地域で、まだまだ終わっていない所は、どれぐらいあるか。また、何年計画でやるのか。

A 伴太郎、本谷、有井川線の川の内付近。期間は24年に2カ所、25、26年には完了したい。

庁舎移転関係調査委託

Q 1910万円の委託料が計上されている。契約金額の根拠、積算に問題はないか。

A 庁舎を建てるには、造成を行い、盛り土も高くなり、今後の地形の変動、盛り土と切り土部分、土質の調査をする必要があるため、ボーリング調査を6カ所程度計画している。

電気自動車用の充電スタンド

Q 33万6千円で設置する充電スタンドの場所はどこか。

また、関連してスマートグリッド等の事業展開への将来的な構想はあるか。

A 充電スタンドは大規模公園内か、用地の関係で無理なら庁舎内に設置を検討する。

事業展開は、総務省も特区申請等に対応するので、町も環境対策と有利な資源の利用という方向を目指したい。